

2025 年度  
東京都立大学大学院 都市環境科学研究科  
都市政策科学域 選抜試験（冬季）  
博士前期課程（一般・社会人）（4月入学）

科目 <小論文>  
時間 9：00～11：00

注意事項：

- ①解答は、配布された答案用紙に行うこと。不足した場合は、手を挙げて申し出て下さい。
- ②答案用紙の「学修番号」欄に「受験番号」を、「氏名」欄に「氏名」を記入してください。
- ③解答は、問題に指示がない限り日本語で行うこと。
- ④監督者の指示があるまで問題冊子は開かないでください（その他、監督者の指示に従うこと）。

受験番号	一般・社会人	氏名
------	--------	----

次の文章を読んで、後の設問に答えなさい。

黒田 東彦「私の履歴書」①「国益を追って デフレ脱却に天命感じ」

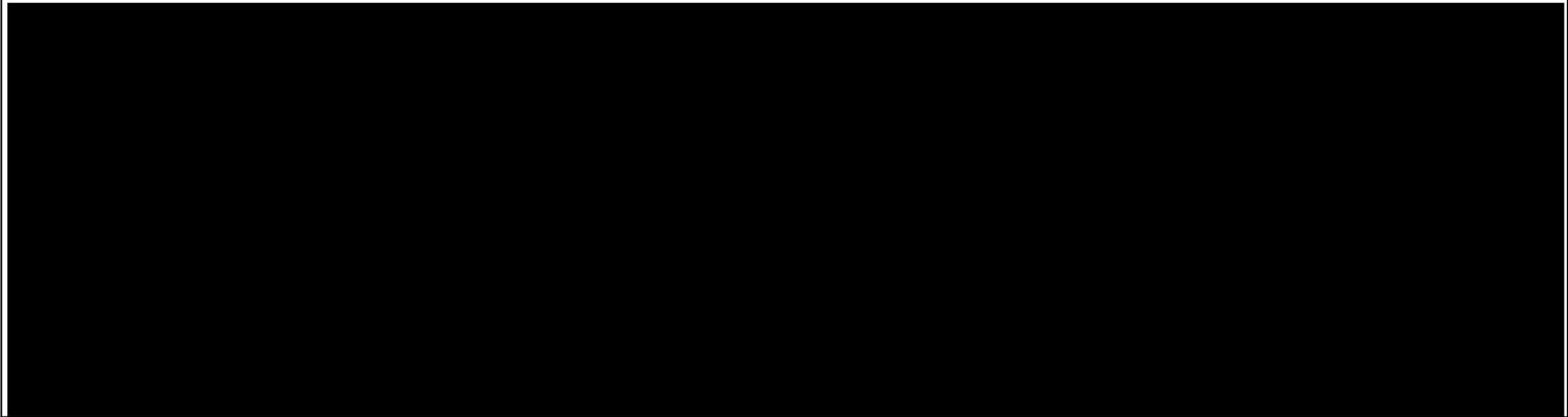
(出典：2023年11月1日、日本経済新聞、一部改変)



注意：次ページにも問題があります

黒田 東彦「私の履歴書」⑦「英国留学 エコノミスト誌に投稿」

(出典：2023年11月7日、日本経済新聞、一部改変)



注意：次ページにも問題があります

黒田 東彦「私の履歴書」⑩「議員への断り役を自任 賠償や交付税の矛盾指摘」

(出典：2023年11月11日、日本経済新聞、一部改変)

注意：次ページにも問題があります

問1 「金融政策でのコミットメント（約束）の重要性を述べた指摘は、半世紀後にはからずも日銀総裁となった私にとって、これほど有益なものになるとは思いませんでした」（下線部①）とは、どのようなことを言っているのか、本文全体の趣旨を踏まえて、説明せよ。

問2 「河口堰は94年に竣工したが、水需要は計画の1割程度にとどまった。木曾岬干拓も89年に工事を終えたが、農地としての利用はなかった」（下線部②）とあるが、それはなぜだと考えられるか、説明せよ。

問3 「一地方の問題ではないと感じた私は、専門誌「ジュリスト」の92年10月1日号に投稿を寄せ、法律専門家に警鐘を鳴らした」（下線部③）とあるが、どのような警鐘か、本文に即して具体的に説明せよ。

問4 「地方交付税の矛盾」（下線部④）とは、どういうことか、本文に即して具体的に説明せよ。